柔道整復師法施行令及び言語聴覚士法施行令の一部を改正する政令案に関する御意見募集の結果について

令和5年9月29日
厚生労働省医政局医事課

標記について、令和5年8月9日から令和5年9月7日まで御意見を募集したところ、5件の御意見をいただきました。お寄せいただいた御意見とそれに対する考え方を次のとおり御報告いたします。

皆様方の御協力に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも厚生労働行政の推進に御協力賜りますようお願い申し上げます。

No.	御意見	御意見に対する考え方
1	<p>・昨今の社会情勢から、値上げは否めないかと思うが、学生負担を考えると値上げすぎではないか。</p>	<p>柔道整復師法において、柔道整復師国家試験の受験手数料の額は実費を勘案して定めることとされておりますので、御理解いただきたく存じます。</p>
2	<p>・「指定試験機関の積立金が全額解消されるとともに、試験事務にかかる収支が悪化」していることは「実費」と何ら関係なく、改正の理由が不明確である。今回の「23,900円」及び「38,400円」について、どのような需要及び原価を見込んで算定したのか、具体的に示すべきである。</p> <p>・また、「実費」がどうであれ、柔道整復師国家試験の指定試験機関にあっては、国家試験の信頼を揺るがす重大な事案を生じさせなければならず、まずは当該重大な事案からの信頼回復を指定試験機関の責任において進めていくべき状況であり、受験手数料の値上げについて受験者及び国民の理解を得られる状況ではない。仮に収支が悪化しているとすれば、人件費も含めた徹底したコスト削減により、指定試験機関自らが収支の改善を行うべきである。</p>	<p>指定試験機関の積立金については、指定試験機関の過去の収支差益に基づく積立金を用いて、平成23年以降の受験手数料を引き下げていたという経緯があるため、当該積立金が全額解消されたことは、受験手数料の額に影響することとなります。</p> <p>また、指定試験機関自ら収支の改善を行っていただいているものと認識しておりますが、柔道整復師法において、柔道整復師国家試験の受験手数料の額は実費を勘案して定めることとされておりますので、御理解いただきたく存じます。</p>
3	<p>値上げの告知と施行のタイミングについて、あまりにも唐突すぎる。年度途中の段階で急な変更を強行するのは控えて頂きたい。</p>	<p>各試験の受験手数料の額は前年度の実施費用等を参考として算出するため、公表時期については御理解いただきたく存じます。</p>
4	<p>まず今回の決定に至るプロセスの中で、どの程度柔道整復師養成</p>	<p>本パブリックコメントは、養成施設を含めた皆様から意見を述べていた</p>

<p>施設からの意見が反映されたのか疑問が残る。</p> <p>その他、改定の理由についても詳細がわかりにくい部分があったので、以下気になる事柄について申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「改定の趣旨」の文言だけでは分かりにくい部分も多く、養成施設としては不安を覚える。より詳細な説明がなされることを希望する。 ・令和5年9月から施行となると、今年度の受験者からが対象になる。本校では国家試験受験料についても年度当初に徴収をしており、今回のような年度途中での急な改定となると、学生から追加徴収せざるを得ない。例えば、改定を来年度から適用するといった措置はとれないか。上記でも述べたが、やはり改定に際しては養成施設の意見も十分に汲んだうえで慎重に進めて頂きたい。 	<p>多く機会として実施しているものです。</p> <p>改正の理由について、指定試験機関の過去の収支差益に基づく積立金を用いて、平成23年以降の受験手数料を引き下げていたという経緯があるため、当該積立金が全額解消されたこと、また、柔道整復師法において、柔道整復師国家試験の受験手数料の額は実費を勘案して定めることとされていることから改定することとしております。</p> <p>また、各試験の受験手数料の額は前年度の実施費用等を参考として算出するため、公表時期については御理解いただきたく存じます。</p>
--	---

※ その他、本件とは関係のない御意見を1件いただきました。